

オンデマンド研修

令和4年度研修

鋼橋設計・施工

—基本技術から維持補修まで—

共 催 一般財団法人 全国建設研修センター
一般社団法人 日本橋梁建設協会
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

鋼橋の特長は、コンクリート橋に比べて重量の割に高い強度を得ることができ、そのため支間を長くとることができます。また、軽量なため地震による影響も小さくて済みます。

本研修では、鋼橋の計画・設計・製作・架設・維持補修から積算まで鋼橋全般にわたり、経験豊富な第一線で活躍されている技術者(講師)の方々による実践的で、わかりやすい講義を行います。

また、鋼橋に関わる最新技術も短期間に修得することができ、鋼橋建設業務に携わる皆様には大変有意義な研修となっております。

新型コロナウイルス感染症の感染防止の上からオンデマンド研修として実施し、好評を得ました。今年度は全教科目を新しく収録しなおし、2年ぶりに講義データを更新して実施いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。



気仙沼湾横断橋



早津江川橋

※(一社)日本橋梁建設協会より

【受講された方々の声】

- ・鋼橋の設計・施工に関する全般の基礎知識や留意点について学ぶことができました。
- ・鋼橋の新設と補修を含めた設計から施工の現地写真を含めた幅広い解説をいただき、再確認できました。
- ・WEB研修は、聞き逃した所を繰り返し視聴できたり、理解が追いつかない所は映像を止めて考え直すなど自分のペースで学習ができて、とても有意義でした。

【配信期間】 令和5年1月25日(水)～2月14日(火) 21日間

上記期間中は、いつでも閲覧可能です。(講義時間 19.5時間)

当センターホームページよりお申込みください。<https://www.jctc.jp/>

【メール配信】 メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、募集のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。

ご希望の方は、下記 URL または QR コードよりお申し込みください。

<https://www.jctc.jp/training/mail-service>



※ 研修会費の助成制度がある県(政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります)
青森・岩手・栃木・群馬・新潟・富山・山梨・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知の13県。
詳細は、各県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください

令和4年度研修「鋼橋設計・施工」【オンデマンド】実施要領

1. 目的 鋼橋の計画・設計・製作・架設・維持補修等に関する総合的な知識を修得する。

2. 対象者 鋼橋の計画・設計・製作・架設・維持補修に携わる者。

3. 配信期間 令和5年1月25日(水)～2月14日(火) 21日間
※WEB配信によるオンデマンド研修となります。
研修動画の閲覧には、パソコン及びインターネット環境が必須となります。
上記期間中は、いつでも閲覧可能です。

4. 教科目、講師 次頁参照

5. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当：渡邊、江澤
※ 申込みは当センターホームページからのインターネット申込みのみとなります。
ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>
TEL:042-324-5315

6. 研修会費及び納入先

(1) 研修会費 : 69,000円 (1人当たり・消費税含)

(2) 研修会費納入先

三菱UFJ銀行 新宿支店 普通預金 No.0000316

ザイ ゼンコケンセツケンシユセンター
一般財団法人 全国建設研修センター

申込受付後に「受講通知書」と「請求書」をお送りします。到着後、研修開始前までにお振込みください。振込手数料はご負担ください。なお、お振込みの際には「振込依頼人名」等の頭に受講通知書等に記載されている「申込番号」をご入力ください。

7. 申込締切日 令和5年1月11日(水)

8. オンデマンド研修に関してのご案内

(1) 動作環境

- ・インターネットを閲覧できる環境 (通信料は各自負担となります。)
- ・推奨OS: Windows 8.1以降, Mac OS X 10.11以降
- ・推奨ブラウザソフト: Google Chrome, Microsoft Edge (バージョンは、全て最新版。)
- ・上記環境に該当しても、セキュリティ環境によっては閲覧できない場合があります。
※研修センターホームページの申込画面にある確認用動画で閲覧可能か、お申込前にご確認ください。

(2) 注意事項

- ・お申込みにあたっては、「WEB研修規約」の内容を確認し、同意のうえお申込みください。
- ・動画を録画・キャプチャーすることやSNS等へのアップは禁止します。
- ・サービス利用に当たってのサポートは致しかねます。
- ・閲覧できる期間は、21日間となります。
- ・申込者のみ閲覧可能とし、視聴ID等の譲渡を禁止します。
- ・受講される人数分をお申込みください。

(3) その他

- ・申込締切日以降、受講に必要なID/パスワードを送信いたします。
また、申込時に登録された住所に研修テキストを送付します。
- ・研修開始の3日前(土日祝日は除く)までに「ID/パスワード」「研修テキスト」が未着の場合はご連絡ください。
- ・ID/パスワード通知後は、キャンセルできません。

9. 継続教育(CPD)について

- ・公益社団法人土木学会の継続教育(CPD)認定プログラム申請予定。
※土木学会以外の団体に登録する場合の方法等は、登録申請団体に事前にご確認ください。

10. 修了証書の発行

- ・ID/パスワード送信時に、学習報告書を添付いたします。学習報告書に必要事項を記入の上、返信してください。確認後、修了証書をお送りいたします。

令和4年度研修 鋼橋設計・施工 教科目

No.	教科目	講義時間	講義内容	講師
	開講にあたり	3分		一般社団法人 日本橋梁建設協会 副会長 兼 専務理事 石原 康弘
1	* 鋼橋の利点、特徴について ・鋼橋へのアプローチ ・鋼橋の魅力	60分	鋼橋全般について、橋の分類・橋の名称、どのように作られているのかその過程や鋼橋の利点・特徴などをわかりやすく紹介します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 委員長 掘井 滋則
2	* 鋼道路橋の計画について	60分	鋼橋の形式選定に関する基礎知識について解説します。鋼橋の構造形式についての概要を説明します。	株式会社横河ブリッジ 理事 営業本部 大規模プロジェクト室
3	* 鋼橋の計画・設計のポイント ・施工と維持管理に配慮した 鋼橋設計時の留意点	120分	鋼橋に携わる技術者として発注前・後の諸問題を最小限とするための計画・設計上のチェックポイントについて基本的確認事項および不具合事例をもとに解説します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 設計東日本部会 部会長 段下 義典 川田工業株式会社 橋梁事業部 技術部 東京技術部 東京技術課 課長
4	* 鋼橋の製作	90分	鋼橋の工場製作の工程の流れに沿って、施工要領、使用機材、品質検査等、必要な基礎知識について解説します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 製作部会 部会長 萩原 篤 株式会社横河ブリッジ 生産本部 生産管理部 部長
5	* 鋼橋の架設	120分	鋼橋の架設について、現地状況に応じた架設工法の選定、各工法の架設計画における施工要領・留意点・架設機械、および事故事例と安全対策を説明します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 架設小委員会 副委員長 大下 嘉道 三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社 建設本部 西部工事部 主管
6	* 鋼橋製作の積算	120分	鋼橋製作の積算について、構成・要素等を解説し、積算上の留意点を説明します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 広報委員会 製作積算部会 委員 松井 正男 瀧上工業株式会社 営業本部 企画積算室 室長
7	* 鋼橋架設の積算	120分	鋼橋架設と補修工事の積算について、積算の概要説明と積算例題を用いて留意点を解りやすく説明します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 広報委員会 現場施工積算部会長 中村 信也 JFEエンジニアリング株式会社 橋梁事業部 建設部 工事積算室 室長
8	* 鋼橋の防食	120分	鋼道路橋における代表的な3つの防食方法(塗装、溶融亜鉛めっき、金属溶射)について、その選定方法から特徴、製作・施工方法に至るまでの基礎知識を中心に具体的に解説します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 防食部会 委員 大庭 哲也 日本ファブテック株式会社 技術企画部 技術提案課 係長
9	* 耐候性鋼橋	90分	耐候性鋼材の基礎から、適用事例、採用時の具体的な留意点等を解説し、さらに、最近の新しい技術を紹介します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 耐候性鋼橋部会長 鈴木 克弥 株式会社横河ブリッジ 設計本部 東京設計第二部 主幹
10	* 鋼橋の床版	90分	鋼橋で使用される床版(主にRC床版と合成床版)について、その概要、設計、施工、維持管理について説明します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 床版小委員会 床版施工部会 副部会長 古川 信一 日立造船株式会社 機械・インフラ事業本部 鉄構・防災ビジネスユニット 建設計画部 部長
11	* 鋼橋の補修・補強における 設計・施工の留意点	90分	補修・補強工事の実態、施工事例、古い橋の特異点等を紹介し、補修・補強工事における設計および施工上の留意点を説明します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 保全委員会 保全東日本部会 委員 門田 徹 JFEエンジニアリング株式会社 改築事業部 技術部 工事室 課長
12	* 震災時における補修・補強事例 一応急復旧から本復旧まで	90分	橋梁の高齢化により保全の時代と言われている現在、地震等による災害以外にも応急対応などが必要となるケースも予想されます。過去の震災での経験を次に活かすために、応急対応から本復旧までの補修・補強事例を紹介します。	一般社団法人 日本橋梁建設協会 保全委員会 保全東日本部会 委員 貞島健介 株式会社横河ブリッジ 技術計画室 東京技術計画部 技術計画課 主査